

北海道におけるシーニックバイウェイ制度の導入について

1. 北海道の現状

(1) 第6期北海道総合開発計画

北海道総合開発計画は、北海道開発法に基づいて策定されており、現在は平成 10 年から概ね 10 年程度を目標とした第 6 期目の計画となっています。この中では、以下のとおり、環境保全や観光振興に関する施策を展開することとしています。

■北海道開発の基本理念

「国の内外に開かれ自立する北海道の実現」

「恵まれた環境や資源に誇りを持って次世代に引き継ぐ北海道の実現」

「多様な生活や文化を享受できる安全でゆとりある北海道の実現」

■施策推進の基本方向

①地球規模に視点を置いた食糧基地を実現し成長期待産業を育成する施策

②北の国際交流圏を形成する施策

③北海道の美しさ雄大さを引き継ぐ環境を保全する施策

- ・恵まれた自然環境の保全

- ・森林、農地、河川、湖沼、海域の有する環境保全機能の維持向上

- ・環境への負荷の少ない循環を基調とする地域社会の形成

④観光・保養など国民の多様な自己実現や交流の場を形成する施策

- ・国民の多様な自己実現に対応した余暇・生活空間の形成

- ・個性的な農山漁村と都市との交流の促進

- ・多様性や個性を尊重する文化の展開

- ・アイヌ文化の振興等と生活環境等の向上

⑤安全でゆとりある生活の場を実現する施策

(2) 北海道の取組み

1) 北海道美しい景観のくにづくり条例の制定

新たな世紀を迎え景観に関する関心の高まりつつある中で、北海道では平成11年3月に策定された「北海道景観形成基本計画」に基づき、平成13年10月に「北海道美しい景観のくにづくり条例」が制定されました。また、平成14年12月には「北海道美しい景観のくにづくり基本計画」が策定され、地域主体の景観づくりや道民、事業者、市町村などの協働と連携による景観づくりが進められています。

北海道美しい景観のくにづくり基本計画「5つの基本方針」

- (1) 道民活動の推進
- (2) 地域主体による取組の推進
- (3) 広域景観づくりの推進
- (4) 公共事業に係る景観づくりの推進
- (5) 専門家の知識等の活用

2) 北海道観光のくにづくり条例の制定

観光産業を北海道経済のリーディング産業とすることを目指し、平成13年10月には「北海道観光のくにづくり条例」、平成14年3月には「北海道観光のくにづくり行動計画」が策定されました。このように北海道では観光に関する施策が、北海道活性化に向けて展開されています。

「北海道観光のくにづくり行動計画」観光振興に向けた行動指針

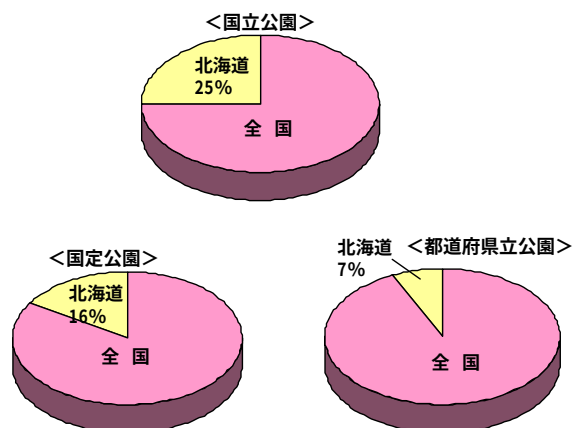
- (1) 自然を生かした取組の推進
- (2) 食を生かした魅力アップ
- (3) あたたかく迎える受入体制の整備

（３）豊かな自然環境に恵まれた北海道

- ◆ 北海道は良質な自然に恵まれており、国立公園の面積は全国の約 1/4 を占めています。
- ◆ 北海道の自然公園は、国立公園が 6 箇所、国定公園が 5 箇所、道立自然公園が 12 箇所となっています。



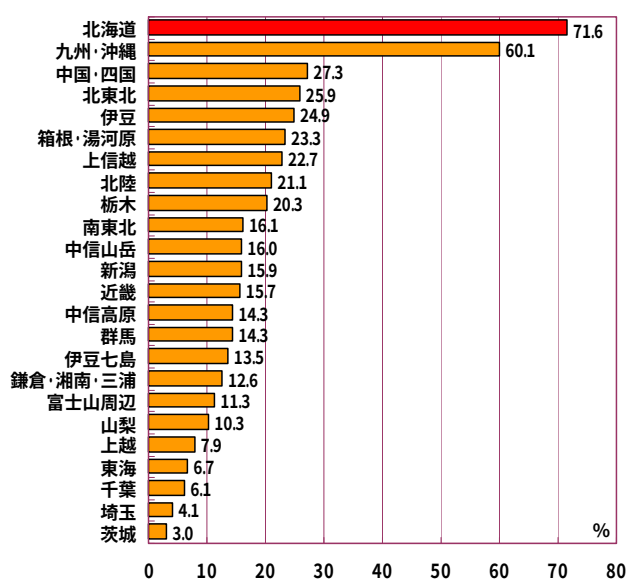
自然公園の分布図
資料／北海道環境生活部環境室



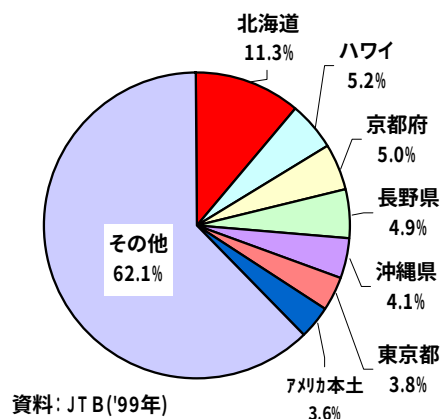
北海道の自然公園全国シェア（面積）
資料／環境省資料
北海道統計書 H13.3.31 現在

(4) 人気が高い北海道旅行

- ◆ 北海道は、東京圏において行ってみたい観光地第1位となっています。
- ◆ 国民の旅行先ニーズとしても第1位となるなど国内でも非常に高い人気を誇る観光地です。



宿泊旅行で行ってみたい地域（東京圏）／
（社）日本観光協会「H11 大都市住民のための観光
レクリエーション」

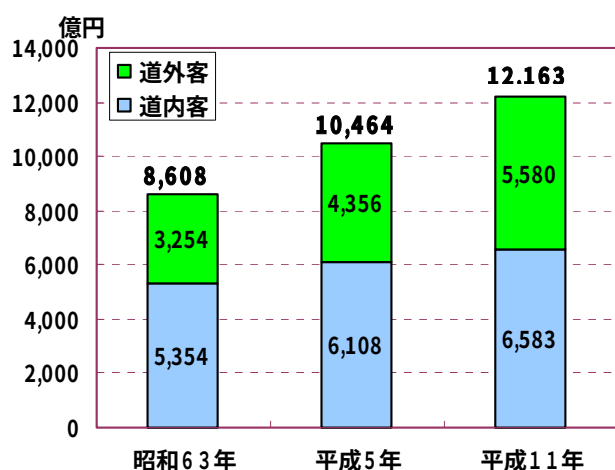


資料: JTB('99年)

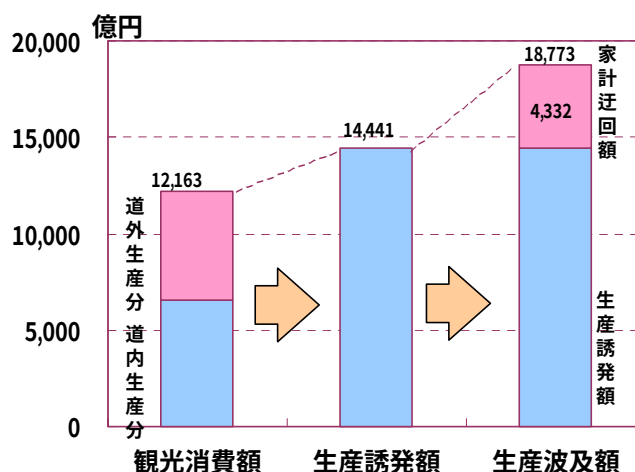
国民の旅行先ニーズ／H11 JTB 調べ

(5) 北海道を支える観光産業

- ◆ 北海道の観光客の多くは、観光に伴って宿泊やお土産の購入など、観光に係わる消費をしています。平成 11 年の観光消費額は全道で 1 兆 2,163 億円と、昭和 63 年の 8,608 億円に比べ約 1.4 倍に増えており、北海道の基幹産業ともいえます。
- ◆ また、平成 11 年における生産波及効果は、1 兆 4,441 億円の生産誘発効果と 4,332 億円の家計迂回額を合わせて約 1 兆 9,000 億円弱の経済活動を生み出していると推定されています。

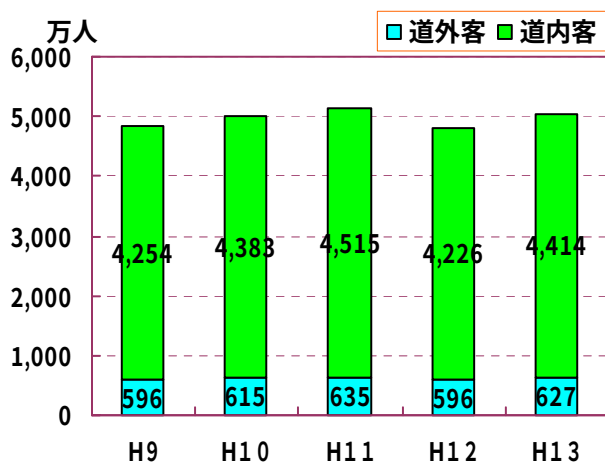


北海道内における観光消費額の推移／
H11 北海道産業経済効果調査委員会
「北海道観光産業経済効果調査」

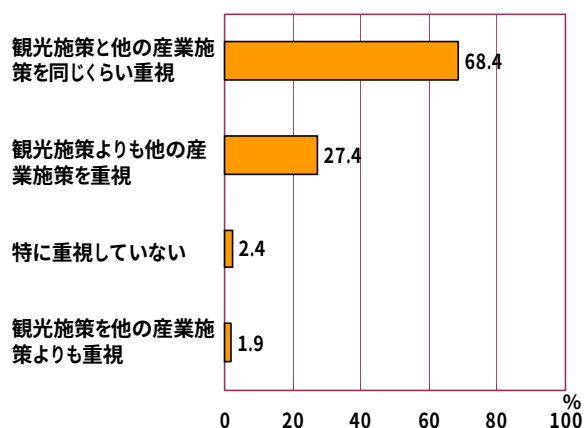


観光における波及効果／
H11 北海道産業経済効果調査委員会
「北海道観光産業経済効果調査」

- ◆ 北海道観光のくにづくり行動計画においては、来道観光客を平成 19 年度には 500 万人から 800 万人へという目標を掲げ積極的な観光振興を提唱しています。
- ◆ 自治体調査においても約 7 割が観光施策と他の施策を同程度に重点をおいています。



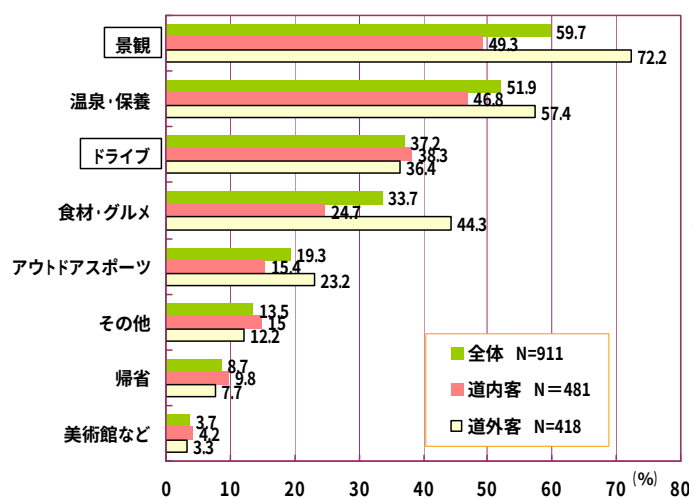
観光入込み客数（実人数）／北海道経済部資料



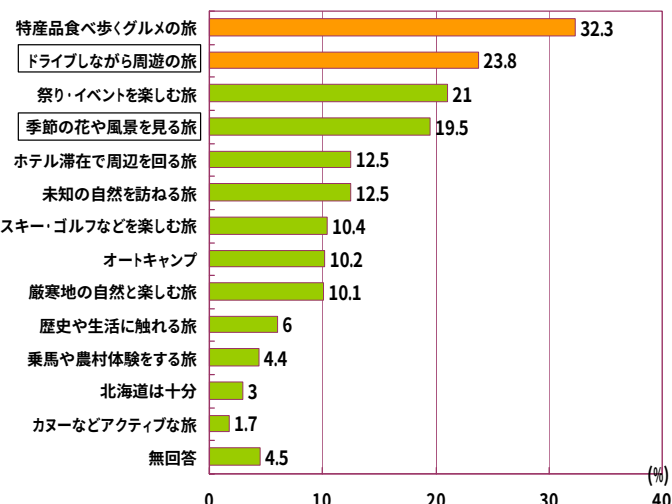
観光施策の位置付け／H11 北海道経済部
「観光行政に係る市町村アンケート調査」

(6) 自然景観やドライブ目的の観光が人気

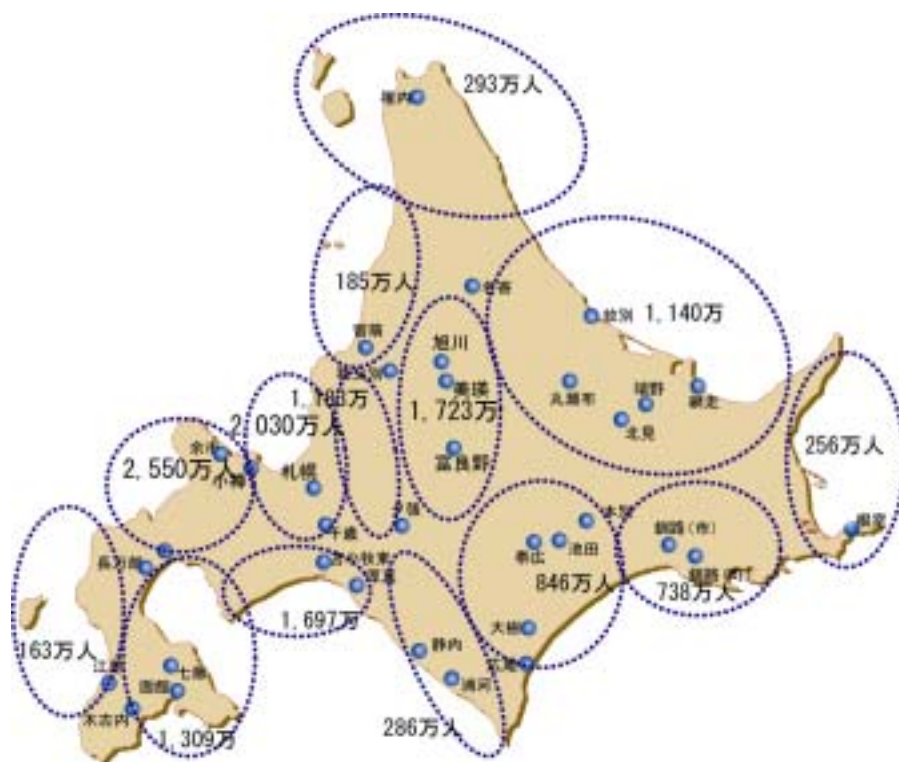
◆ 北海道における旅行目的は、景観、温泉・保養、ドライブなどが上位になっています。特に、道外観光客は、景観を楽しみにしている割合が高くなっています。北海道は雄大な自然に恵まれ、ドライブを目的とした観光が人気を集めています。



北海道内における旅行目的／H12 北海道開発局資料



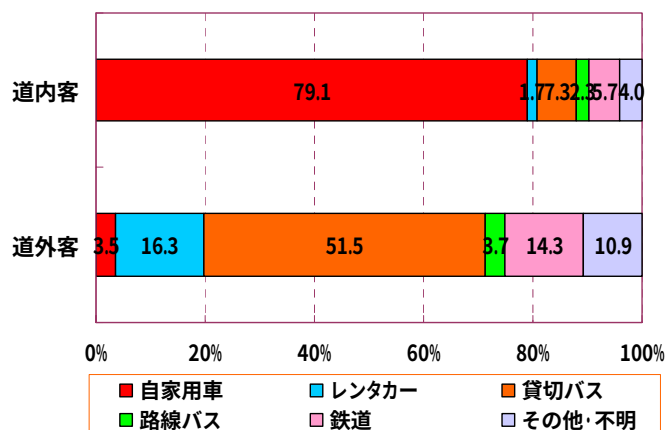
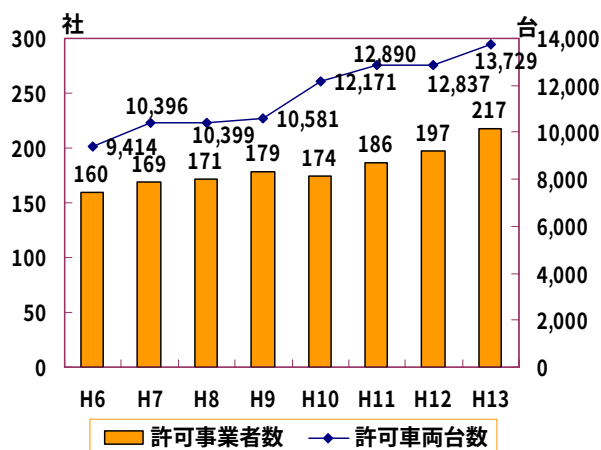
今後希望する北海道旅行スタイル／H12 北海道開発局資料



観光拠点と観光入込み客数（延べ人数）／
H13 北海道経済部 北海道観光客入込み調査

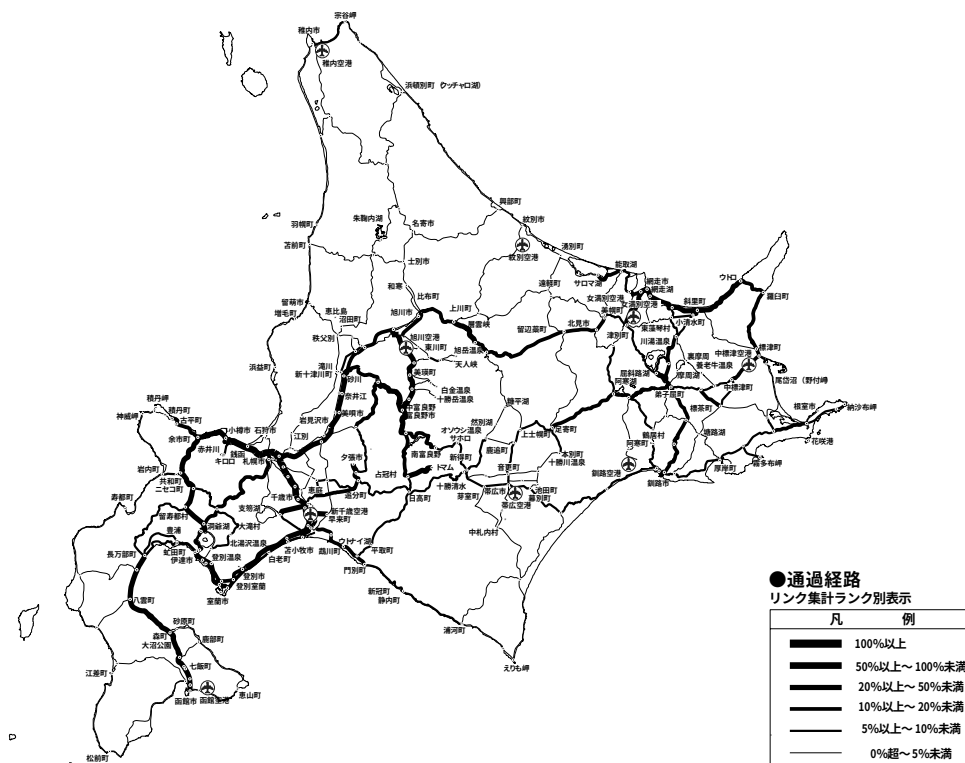
(7) 乗用車での移動が主流

◆ 道内を周遊する観光客の交通手段として、道内客の約8割、道外客の約2割は自家用車やレンタカーを利用して道内を周遊しています。また、レンタカーの台数が年々伸びていることから、北海道での旅行者が乗用車での移動を主流としていることがわかります。



レンタカー許可事業者数と許可台数の変化／
H13 北海道運輸局資料

道内を周遊する観光客の交通手段／
H11 北海道経済部資料

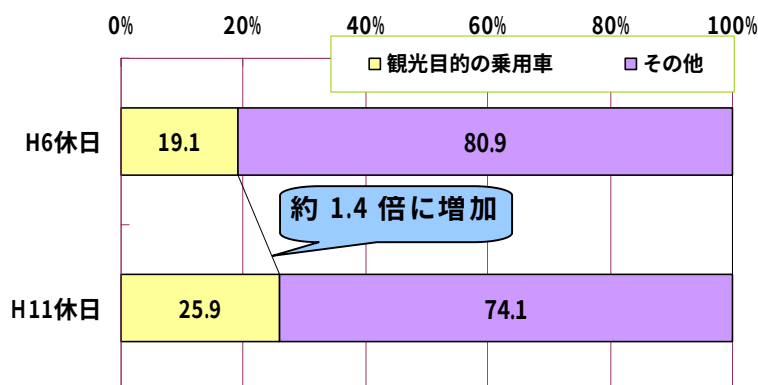


※通過台数÷サンプル数 (1067台)

来道観光客のレンタカー調査／H13 北海道開発局調べ

(8) 観光目的の移動台数の増加

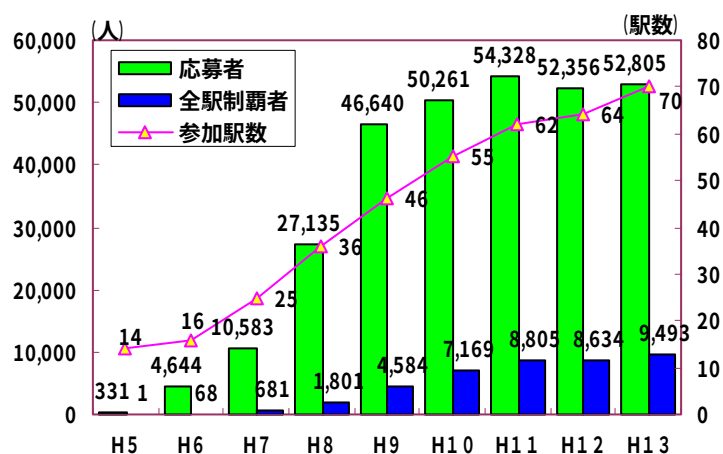
- ◆ 観光を目的とした休日における乗用車移動台数の割合が平成6年と比べ、平成11年には約1.4倍に増加しています。



北海道内の都市間における全車移動台数のうち観光目的の乗用車移動台数割合／道路交通センサス資料

(9) ドライブ観光を促すスタンプラリー

- ◆ 北海道「道の駅」スタンプラリーの参加者は、年間50,000人にも上っています。全道各地を回ればたくさんのスタンプを得ることができるこのキャンペーンは、ドライブ観光の振興に一役買っています。



「道の駅」スタンプラリー参加者数／「道の駅」連絡協議会資料